



第137期

# 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日まで



## トップメッセージ

# モノづくりのプロに モノづくりの愉しさを育む

株主のみなさまには、日頃から温かいご支援をたまわり厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第137期決算の報告をお届けいたしますので、ご高覧たまわりますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 地引俊為



### ■経営成績

当連結会計年度のわが国経済は、年度前半は企業収益や雇用・所得環境の改善などにより設備投資や個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が継続しましたが、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、日韓関係の悪化などの海外情勢に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度末にかけて急速に悪化しました。

こうした経済環境の下、当社グループは全社員を一丸とする企業文化“コーポレートカルチャー”を醸成し、創立100周年（2023年度）にあるべき姿を目指すため、経営ビジョンを「モノづくりのプロに  
モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガンを「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」と定め、その浸透と発信を図り、経営目標達成に向けて努力してまいりました。また、2019年4月にコーポレートカルチャーの醸成促進と、より機能的な組織体制とすべく、組織改革を実施いたしました。社長室をコーポレートカルチャー

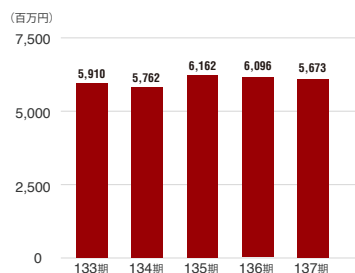
醸成に特化させ、営業部に営業企画・推進部門を統合させるとともに、取引先別販売チャネル展開を加速すべくeビジネス推進部門を新設しました。また、顧客満足の充実を図るため、カスタマーサービス部門を独立させました。そして、将来を見据え、金属製品事業では生産設備の拡充並びに人的な投資・充実を、レジャー事業ではサービス向上に向けた設備投資を計画的に進めてまいりました。

このように経営目標達成への取組みに注力しましたが、売上高は前年同期比6.9%減の56億7千3百万円（前年同期60億9千6百万円）となり、利益面では減収影響に人件費増も加わり、営業利益で同45.9%減の2億3千7百万円（同4億3千9百万円）、経常利益で同52.0%減の1億9千万円（同3億9千7百万円）となりました。親会社株主に帰属する純利益では、特別損益において、関係会社株式売却益の計上はありましたものの、福岡営業所土地・建物に関する減損損失の計上により、同80.8%減の4千6百万円（同2億4千5百万円）とな

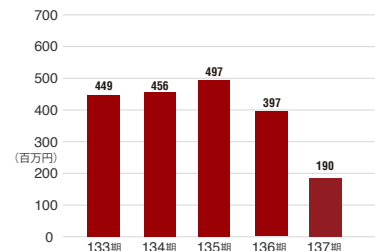
## 営業成績

区分	133期 (2016年3月期)	134期 (2017年3月期)	135期 (2018年3月期)	136期 (2019年3月期)	137期 (2020年3月期)
売上高 百万円	5,910	5,762	6,162	6,096	5,673
経常利益 百万円	449	456	497	397	190
親会社株主に 帰属する 当期純利益 百万円	275	351	310	245	46
1株当たり 当期純利益 円	293.19	374.56	332.13	262.55	50.30

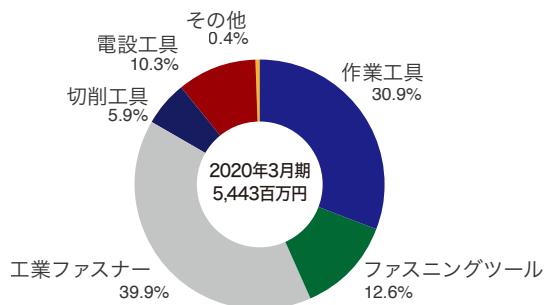
## 売上高



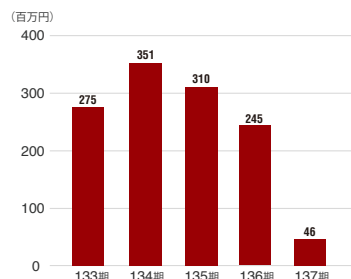
## 経常利益



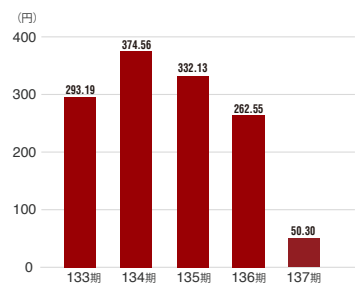
## 金属製品事業における品種別の売上高構成比



## 親会社株主に帰属する 当期純利益



## 1株当たり当期純利益



■ 通期

(注)2017年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。  
第133期の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

りました。

セグメント別業績

### ①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。ハンドツール部門ではレンチ類において本締めに迫るプロ仕様を謳った「ハイブリッドモンキレンチX W-ZERO」や軸

の強いソケット「ストロック」などの新商品投入による増加がありましたものの、OEM製品の低調などにより減少し、ファスニング部門では工業用ファスナーにおいて新規案件の獲得などがありました。継続案件の工法変更による注文減や工期遅延影響を補えず減少しました。切削工具部門については拡販努力を行いました。継続的

な価格競争影響により減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ減少しており、ハンドツール部門では主力販売国である韓国の経済環境や流通在庫増加影響により、レンチ類・電設工具などが大幅に減少しました。ファスニング部門においては拡販努力によるエアナッターの増加はありましたが、エアリベッター等の他のファスニングツールが米国における流通在庫増加影響により減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比7.3%減の54億4千3百万円（前年同期58億7千4百万円）となりました。利益面ではセグメント利益の減収や人件費増により、前年同期比61.0%減の1億3千7百万円（同3億5千3百万円）となりました。

## ②レジャー事業

ゴルフ練習場におけるお客様一人当たり売上高は、気温などの天候影響と思われる滞在時間の減少やキャンペーン企画実施により低下しましたものの、入場者数はサービス向上や集客施策により前年同期に比べ増加し、売上高は前年同期比3.9%増の2億3千万円（前年同期2億2千1百万円）となりました。セグメント利益は前年同期に実施した設備修繕等の費用が無くなり、同16.6%増の9千9百万円（同8千5百万円）となりました。

## ■今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、その先行きは非常に不透明な状況となっています。

このような見通しの中、当社グループでは昨年度より

掲げております経営ビジョン「モノづくりのプロにこころをこめて、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営目標達成に向け努力してまいりてまいります。なお、コーポレートカルチャーの醸成と経営ビジョンの推進を図り、また、如何なる波にも耐え得る力をつけるため、新たに2020年度経営課題として『業務の整流化を徹底し 利益体質の強化を図る』を定め、この課題解決に向けた機能的な組織体制とすべく、2020年4月に組織改革を実施しました。社長室には経営戦略実行の徹底・強化を図るために経営企画担当を設置し、マーケティング本部については「モノづくり事業本部」と改称し、傘下にある「商品部」はこれまでの商品企画部・購買部・特販部門を統合するなど“モノづくり”を一気通貫で推し進めるための組織づくりを実施しております。また、国内・海外の営業をそれぞれの戦略に則り徹底的に進めていくために営業部傘下の海外営業グループを独立させ、「国内営業部」と「海外営業部」を設置しました。また、各種プロジェクトを立ち上げ、具体的な課題解決を図ってまいります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから、2021年3月期の業績予想は未定としております。合理的な算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

2020年3月

経営ビジョン

# モノづくりのプロに モノづくりの楽しさを育む

経営スローガン

私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、  
つくる楽しさを伝え広げる事で社会に貢献します



## プロ -仕事-

プロフェッショナルの  
“モノづくり”の現場を  
高品質の工具で支えます



## 生活者 -趣味-

暮らしの中で  
“モノづくり”の楽しさを広げ、  
モノづくりの文化を育みます



## 社員・ ステークホルダー

「魅力」があり  
「誇り」を持てる会社に

2020年度 経営課題

## 業務の整流化を徹底し利益体質の強化を図る

部署間で重複している業務を正し、過去の業務の見直しを行い、  
無駄を省くことで利益を確保できる強い企業を目指します

## トピックス

■公式HP  
商品情報はこちら



■YouTube  
動画はこちら



### モノづくりのプロに答える

#### ● ブラインドリベット ECOパック

材質・サイズ共にラインアップを大幅増。  
ラベルカラーで材質がわかり、樹脂ケース入りで  
保管にぴったり。



#### ● 軸の強いソケット ストロック

全18種類、78点。  
六角圧入で、ねじれ・  
折れに強く、  
トルク伝達効率が高い。



#### ● J-CRAFTシリーズ 第3弾

第3弾は19種類を追加。  
J-CRAFTシリーズは全35種類になりました。



#### ● コードレスリベッター R2B1

NEW

#### 絶賛発売中

エアリベッター並みの  
超高速リベティング・  
軽量ボディ。  
コードレス化で現場に  
革命を！





## ブランドの認知度向上

2020年度もNASCARドライバーの古賀琢麻選手とスポンサー契約を結び、その活動を応援しております。



古賀選手の  
動画はコチラ



▲東京オートサロン2020の様子(2020年1月10日~12日)

## モノづくりの楽しさを育む

小学校工作教室

モノづくりのまち東大阪を伝えるために、  
市内の小学校を対象に工作教室を実施。  
(NPO法人東大阪地域活性化支援機構主催)

マサノヴァ・アートデザイン  
ボルトン



2019年11月

## 将来を見すえた設備投資

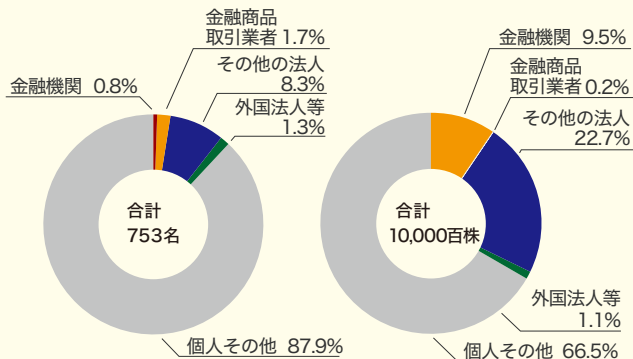
### 鳥取ロブスターツール株式会社

2019年5月末に完成したH棟への移設が完了。  
各生産部門を集約し、作業動線を縮めることで生産性が向上。  
効率の良い現場へ。



### 株式の状況(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,000百株
発行済株式総数	10,000百株
株主総数	753名
所有者別株主構成比	



### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料) (受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)) ホームページ <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="https://www.lobtex.co.jp/lobtex/">https://www.lobtex.co.jp/lobtex/</a> (ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)



株式会社 ロブテックス

〒579-8053 東大阪市四条町12番8号